
何の教訓？

朝霧幸太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
何の教訓？

【Nコード】
N1530R

【作者名】
朝霧幸太

【あらすじ】
ショートストーリーですので、あらすじは記しません。

新入社員の現場研修が終わり、会議室で質問の時間となった。

「沢村さん、教えて下さい。会社員として、そして社会人として何が一番、大切かを」

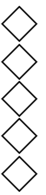
新入社員は真剣な眼差しで私に問い掛けて来た。

「うむ。最も大事な事は怨恨を……女からの恨みを買わないことだ」

「えっ？」

彼等にはピンと来ないようだ。

「では、過去の具体例で話そう。そこから汲み取って欲しい」



『それで……心配事と言うのは？』

居酒屋で、同僚の重田に私は尋ねた。

『うん。この頃、連日で、ワン切りが多いんだ。それも非通知で』

重田は顔を曇らせている。

『そいつは厄介だな……何か、思い当たる事はないのか？ 例えば、酔った勢いで酒場の女と適当な口約束とか、やり逃げしたとか？』

『やり逃げだなんて人聞きが悪い。俺は、そんなこと……あつ！
いや、まさかね？』

『何だ？ 思い出したか？』

『いや、去年、組合執行部の慰労会があって、伊豆で一泊したんだが、その時にコンパニオンと……つまり』

『遊んだのか？』

『成り行きで、気がついたら、そういう事に……』

『それだ！ その時に約束したんじゃないのか？ また逢おうとか、こっちへ呼ぶとか』

『いや、そんな筈は……』

『彼女が居るのに、よくやるな』

『いや、一年前の、あの時は居なかった。ほんとだ。沙紀と付き合いようになったのは去年の夏からだし』

『ふーむ。後からでもサキとは、これ如何に？』

『さ……沢村……』

『すまん。冗談だ』

『多分、違うと思う。俺は、そんな約束なんか誰とも……えっ？』

何？ あっ！』

重田は後ろを振り返り、そして固まった。

『へーっ、そういうことを言うの、シゲちゃんはっ！』

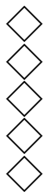
『あ、あみちゃん』

『あれほど約束したのに、ずいぶんじゃない？ ワン切り2回が合図よって。そうしたら、あたしに電話をくれるって。サキちゃんて誰？』

女の睫毛と爪が異様に長い。

一目でキャバ嬢と解った。

『理由が解って何よりだ。シゲちゃん……俺は、はずすよ』



「以上だ」

怨恨を買うなと言うメッセージは伝わった筈だった。

休憩所から新入社員の話し声が聞こえる。

「だから、さっきの話は、ワン切りが続いても、うっかり同僚に相談すると、しっぱを捕まれると言う教訓なんだろう？」

「いや、そうじゃなくて、キャバ嬢との約束を忘れるなって……」

私は頭が痛くなった。

――了――

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1530r/>

何の教訓？

2011年10月8日13時08分発行